

1. 授業のねらい・概要

情報通信技術の進展とその社会への浸透に伴い、社会環境、ビジネス環境、産業環境が大きく変化している。そして、学校教育においても情報教育の拡充強化が図られようとしている。さらに、これからの情報化社会では、情報に関する職業領域があらゆる場面において成立すると考えられる。

このような経緯を踏まえて、本科目においては、情報化の進展に大きな役割を果たしてきた情報技術の発展の歴史、情報社会の進展による社会構造や産業構造の変化、情報技術者にとっての職業観やキャリア形成、ネット社会における倫理観等について考える。

2. 授業の進め方

講義を中心に演習をまじえて実施する。

3. 授業計画

| | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 講義の概要 | 9. サイバー犯罪 |
| 2. 情報化の歴史と現状 | 10. 著作権と個人情報保護 |
| 3. 情報化による労働環境の変化 | 11. 情報倫理 |
| 4. 情報化による職業の変化 | 12. 情報化社会と行政・医療 |
| 5. ネットビジネス | 13. 教育における情報の活用 |
| 6. 情報技術者にとっての勤労観と職業観 | 14. ビッグデータと統計的分析 |
| 7. 情報化社会におけるキャリア形成（資格・自己啓発） | 15. まとめ |
| 8. 前半のまとめ | |

4. 到達目標

- 1) 情報化の大きな流れと職業への影響を説明できる。
- 2) 情報関連の職種に従事している者の職業観・倫理観を説明できる。
- 3) 情報化社会の現状を把握し、いくつかのトピックや光と影について説明できる。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

教科書や参考文献の事前学習（30分程度）

6. 成績評価の方法・基準

定期テスト

提出物

講義に対する積極性（授業態度など）

7. テキスト・参考文献

テキスト： 駒谷昇一、辰己丈夫「情報と職業」オーム社改訂2版 978-4274216756

参考文献： 総務省編 「平成29年度情報通信白書」

新井紀子 「コンピュータが仕事を奪う」日本経済新聞出版 978-4532316709

8. 受講上の留意事項

出席が7割を満たさないものは評価の対象とならない。